

私たちの住んでいる「堅倉」。自然豊かで、住む人たちのハートもホッカホカ。江戸時代は水戸街道の「片倉宿」としてにぎわいました。でも「堅倉」は私たちにとって「学びの宝石箱」でもあるんです。私たちが堅倉から学んでいることの一部を紹介します。

むかしのあそびをしよう（1年）



お年寄りに昔から続く遊びを教えてくださいました。ペーゴマやお手玉、あやとり、おはじきなど、やったことのない遊びばかり…。初めてやる遊び、うまくできるかどうか不安でしたが、楽しくできました。

おじいさんやおばあさんにはなしかけるのはドキドキしたけど、とてもやさしくおしえてくれました。そして、あそびにはいろいろなものがあるんだなあと思いました。

かたくらをたんけんしよう（2年）

「もっと堅倉のことを知りたい」「お店の人にいろいろなことを聞きたい」……。

グループに分かれ、まちに出かけます。初めてのインタビューはドキドキです。でも、地域の方々が優しく接してくれました。ふだん何気なく通り過ぎている場所も、立ち止まってよく見ると、たくさん新しい発見がありました。

インタビューするとき、ドキドキしました。でもやさしくこたえてくれたのでうれしかったです。お店ではたらく人たちのくふうが分かりました。



堅倉の地図をつくろう（3年）

学校から見て、東西南北にはそれぞれどんなものがあるんだろう…。みんなで歩いて確かめていきました。

学校に戻り、絵地図に表しました。その後、地図記号を使い、分かりやすい大きな堅倉の地図を完成させました。

学校のまわりにどんなものがあるのかよく分かりました。また、絵地図よりも地図記号を使うと分かりやすいと思いました。



点字・手話・車椅子・アイマスクを体験しよう（4年）

市内のボランティアサークルの皆さんにご指導いただき、点字や手話、車椅子、アイマスクの体験をしました。この体験を通して、障害のある方々とともに生きることについてじっくりと考えることができました。

初めて知ることばかりでしたが、ボランティアの方々がやさしく教えてくれたので、とてもいい体験活動ができました。障害のある方々の大変さが分かりました。



米作りを体験をしよう（5年）

地域の方が、毎年、田植えと稲刈りの仕方を教えてくださいました。収穫したお米は、「かたくらふれあいまつり」の時に赤飯にしてみんなで食べます。

どろんこになって植えた苗。そして刈り取ったたくさん稲。途中、たくさんしなければならなかったことがあっても社会の学習で学びました。食べものに感謝!!



霞ヶ浦、沢目川の水を調べよう（6年）

霞ヶ浦環境科学センターの先生方にご指導いただき、霞ヶ浦の水や学区内を流れる沢目川の水を見たり、においをかいだりして観察しました。そして、科学的な方法で水の汚れ具合を調べ、水を汚さない手立てをみんなで考えました。



川の水を汚さないよう、そして、その川が流れ込むみんなの霞ヶ浦を守るためには、私たち一人一人の心がけとちょっとした取組が大切だということ学びました。

「堅倉」での体験活動を通して、堅倉は本当に素敵なおとこだとあらためて感じました。これからも、私たちのふるさと「堅倉」のよさを大切に、さらに学びを深めていきたいと思っています。